

コミュニティナースがつなく 我入道地域活性化事業

山本真紀（コミュニティナースやどかり・循環ワークス）



コミュニティナースとは？

コミュニティナースは、資格や認定を必要とするものではありません。コミュニティナースは、暮らしのそばで地域の人たちと一緒につながりを育むことで、健康な毎日と一緒に作り出します。そして誰もが誰かの健康・元気を応援できる社会を目指しています。

コミュニティナースの実践は100人100通り。
一緒に活動してみませんか？ 現在お仲間募集中！！

事業目的

我入道地域は少子高齢化が進み、独居高齢者や空き家が増加しています。コロナの影響でコミュニティが希薄になり、社会的孤立が進行中です。そこで、地域の中心に拠点を設けコミュニティナースとして活動し、「心と身体の健康と安心」を実現することを目指します。異なる専門性を持つ人々と連携し、一人暮らしの高齢者、ひとり親、障がい者、子供たちをつなげ、世代間交流を促し、新しいコミュニティを形成することで孤立を防ぎ、活気ある地域を作ります。

現状と目標

現在は毎週木曜日古民家の解放をおこないつつ、毎月「おなかまめし」という多世代交流型、みんなで料理を作ってみんなで食べるというイベントを開催しています。参加者には好評であり、この活動を高齢者にもさらに広めていきたいと考えています。また、今年度は、我入道在住の方々にもご協力いただきマップを製作することになりました。自分の住んでる街の地図を作ることで、地元の魅力を再発見するとともに、共同作業を通して住民同士のつながりを活性化させます。最終目標は、コミュニティナースという役割がなくても住民同士が繋がりが解決していくような地域づくりです。

活動と成果

毎週木曜日の活動（古民家解放日）

毎月約10～30名が来訪
多世代が交流、精神面の相談対応もあり
満足度の高い居場所を提供

イベント開催

コミュニティナース講演会、古民家見学会に98名が参加
0歳児から高齢者まで参加、共感と賛同の声
新たな交流が生まれる効果を確認

地域での認知活動

町の駅我入道や自治会の集まりに参加、マルシェイベントを開催し、認知度が少しずつ向上中

振り返り課題

当初から「コミュニティナースやります！！」と勢よく言ったせいか、「ナース」という言葉に引っかかり、対象が「病人」と思われている人も多いため、誰しもがふらっと立ち寄れる場所であり、誰しもが頼り頼られ繋がって行ける場所であることを伝えられる、地道な広報活動が再度必要かと考えています。顔と顔のつながりをさらに増やし、関係人口も増やすために、定期的なつながるイベントなども企画していきます。

